



大阪府下でも

まだ数施設しか導入

していない

AIによる内視鏡画像診断支援機能プログラム

EndoBRAIN-EYEを導入

～大腸の病変をリアルタイムに検出する診断サポートシステム～

今回本院が導入した内視鏡画像診断支援プログラムEndoBRAIN-EYEとはAIによる内視鏡診断支援機能システムであり、膨大な数の内視鏡画像を学習しており、大腸内視鏡検査中の画像をAIが解析し、ポリープ・がんなどの病変の疑いを検出するとリアルタイムに音と画面上の色で警告し、医師の診断の補助をおこないます。

人間とAIの協働により、医師1人の診断からAIのダブルチェックが実施されますので、従来の検査よりも小さな病変などの発見の可能性が高まります。大腸がんは早期発見が非常に重要な病気です。是非、大腸内視鏡検査を受けてみませんか。

